

仙台高専同窓会会報

vol.1

発行: 仙台高専同窓会事務局

平成24年度仙台高専同窓会総会報告

平成24年6月16日(土)にホテルオパレス仙台にて、平成24年度仙台高専同窓会総会が行われました。

総会議事では、まず事務局から左記の事項についての報告が行われました。

- 1 平成23年度事業報告
- 2 平成23年度決算報告

監査報告

その後、左記の決議案が出され、満場一致で承認されました。

- 1 平成24年度事業計画(案)
- 及び平成24年度予算書(案)
- 2 役員改選

平成24・25年度の仙台高専同窓会役員は左記の方です。(敬称略)

名誉会長…内田龍男 校長
顧問…丹野 顯 副校長
竹茂 求 副校長
川崎信之 事務部長
会長…新山敏彦
副会長…大江章
理事…引地 智/笠松富二夫
菊地則仁/佐藤 隆
渋谷英樹/遠藤好朗
高田 稔/工藤久志
出貝隆志/末永貴俊
監事…高橋博之/林 忠之
参 与…佐々木勇/藁科秀男
事務局長…鈴木勝彦
副事務局長…奥村俊昭
会計担当…石川信幸/岡 義次

仙台高専同窓会総会の後、名取キャンパス総支部(秋朋会)、広瀬キャンパス総支部(松韻会)の各総会が各会場で行われ、その後、再度合流し、懇親会が行われました。



平成25年度仙台高専同窓会総会のお知らせ

平成25年度仙台高専同窓会総会(6月8日(土)午後)に東京プリンスホテルで開催されます。仙台高専同窓会の総会後、引き続き同会場で各キャンパス総支部(秋朋会、松韻会)毎の総会が開かれ、その後、合同で懇親会が開催されます。詳細につきましては、後日ご案内させていただきますので、是非ご参加頂きますようお願い申し上げます。

仙台高専同窓会設立3周年によせて



仙台高専同窓会会長 新山 敏彦

会員の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。私は初代の佐々木勇さんから会長を引き継いだ宮城高専電気工学科第9回生(1976年3月卒業)の新山敏彦と申します。仕事は、発注者側の立場で仙台市地下鉄東西線の電力設備の設計施工を担当しております。早いもので、2009年10月に宮城高専同窓会(秋朋会)と仙台電波高専同窓会(現在は松韻会)が統合し、仙台高専同窓会となりました。3年が経過しました。全国4地区での高専の高度化再編の中で、同窓会が統合出来たのは仙台地区だけで、全国に誇れる事項であると考えます。秋朋会、松韻会とも長い歴史に

支えられ、諸先輩方のご指導の賜物として現在の組織が確立されている。統合後も、実質的には名取総支部・広瀬総支部として各々が主体的に活動を行っており、本部は両総支部の共通事項を行う、言わば「持株会社」的な存在となっています。共通行事としては、定期総会や卒業式後の同窓会入会式、記念品贈呈等が主なものですが、今年は統合3周年の節目の年と位置付け、皆様が今ご覧の記念会報を発行することとしました。今後、このような記念行事などを、折りに触れ企画したいと考えていますので、皆様方からの忌憚のないご意見、ご指導をよろしくお願いいたします。

学校長挨拶



校長 内田 龍男

日頃仙台高専へのご支援を頂きまして誠にありがとうございます。さて、旧宮城高専と旧仙台電波高専が高度化統合されて、はや3年目を迎えています。現在、新旧両学科が並行して存在していますが、学年進行によって現在の3年生が25年4月に5年生になったところで統合が完成することになります。それまで1年と数ヶ月ですが、その間に統合の中身を充実させるべく、必要となる変革も視野に入れていく必要があります。そのような時期に、名取総支部(秋朋会)と広瀬総支部(松韻会)が初めて合同の同窓会報を印刷することは、まさに時宜を得たものと存じます。

さて、地震の後遺症や欧米の経済不況で、世界は大変厳しい状況にあります。このため、大学などの高等教育機関への期待や要望と背

中合わせに、批判と体質改善が強く求められています。幸い高専については厳しい批判はなく、むしろ良い評価がされていますが、これは実践教育を中心としたかなりハードな教育体制やその卒業生の活躍が高く評価されていることによるものだと思います。

しかし、日本も世界も大きく変わり始めており、産業のグローバル化が急速に進んでいます。このような状況の中で、高専卒業生にはさらなる期待がかけられていくものと予想されます。これに備えて、仙台高専ではこれまでの歴史と基盤を重視しながら、世界の変化や時代の変化に対応し、社会を牽引できる人材を育成しなければならぬと考えております。同窓会の皆様方のご支援、ご鞭撻をよろしくお願いいたします。

第10回萩朋会東京支部総会開催

11月17日、第10回萩朋会東京支部総会が東京で開催されました。東京支部総会は隔年で開催されてきましたが、今回は、昨年3月の東日本大震災とその後を踏まえ、「震災復興の歩みとともに」と題して行われました。それぞれの被災の体験や、復興活動への取組みの体験を共有し、被災地の一丁目でも早い復興と明るい未来の実現を願い、共に歩こうという思いを込めて交流が行われました。内田龍男校長先生からのご挨拶では、学校の被災状況と今後の復旧の様子が伝えられ、スペシャルスピーチでは、鈴木謙治さん（E25）から「復興のアンテナ」ポラパス支援の取り組み」と題して、所属する企業で「災害ボランティア活動支援プロジェクト」に参加し、ポラパス（ポランティアバス）を運行させて、岩手、宮城、福島への支援を継続する話や、個人でのボランティア活動の取組みが紹介されました。また、インターネット回線でないだ名取キャンパスからは、仙台と亘理に建築事務



務所を置く渋谷尚さん・セツコさん（A5）の、自らの被災体験とその後地域住民と一体となった復興非営利団体わたり・あらはまの復興活動が紹介されました。特にセツコさんが以前から取り組んできた地域の歴史的建造物の保全活動では、震災の影響で崩れた建造物の復旧や、同時に子供たちに参加してもらうことによって、様々な意味を含めた学習機会を提供する活動が紹介されました。

今回の支部総会を通して、改めて卒業生が様々な形で社会貢献している姿を見ることができたことに加え、東京会場と名取キャンパス会場をインターネットでないで進行させるという、高専生のチャレンジ精神と技術の高さを確認する



東京会場



東京会場

平成24年度(第49回)東北地区高専体育大会結果

◎は全国大会出場

競 技	成 績
陸 上	学校対抗男子：5位 学校対抗女子：5位 男子110mH：2位◎・3位◎ 男子3000mSC：3位 男子やり投：2位◎ 女子100mH：2位 女子やり投：2位
バスケットボール男子	予選敗退
バスケットボール女子	3位
バレーボール男子	予選敗退
バレーボール女子	3位
ソフトテニス	男子団体：予選敗退
卓 球	男子団体：3位、男子シングルス：3位
柔 道	男子団体：優勝◎ 男子90kg級：1位◎・2位◎ 男子90kg超級：1位◎・2位◎ 女子52kg級：1位◎
剣 道	男子団体：優勝◎ 男子個人：1位◎・4位◎
硬式野球	2位
サッカー	一回戦敗退
テニス	男子団体：予選敗退
ハンドボール	3位
バドミントン男子	男子団体：一回戦敗退
バドミントン女子	女子団体：2位 女子シングルス：2位◎ 女子ダブルス：3位
水 泳	学校対抗男子：2位 学校対抗女子：7位 男子自由形100m：3位◎ 男子自由形200m：2位◎ 男子自由形400m：2位◎ 男子自由形800m：2位◎ 男子平泳ぎ100m：2位(大会新)◎ 男子平泳ぎ200m：2位◎・3位◎ 男子バタフライ100m：1位◎ 男子リレー400m：2位◎ 男子バタフライ200m：1位◎・3位◎ 男子リレー800m：2位



名取キャンパス会場

ことができたと言えます。もちろん、学校側も含めたいろいろな方々の協力が得られたことも、大きな要因となりました。

宮城高専が仙台高専となった今、萩朋会東京支部は、萩朋会の関東地区の学年を越えた交流の場と



名取キャンパス会場

いうだけではなく、松韻会関東支部との連携や、仙台高専の卒業生の受入も含めた様々な連携に取組み、より多くの卒業生が参加できる意義のある交流を目指しています。

萩朋会東京支部支部長 小野 省（機械工学科第3回卒業）

仙台高専同窓会 名取キャンパス総支部(萩朋会)役員

名誉会長 内田 龍雄（校長）

本 部			東京支部		
会 長	新山 敏彦	(E9)	支 部 長	小野 省	(M3)
副 会 長	武田 幸三	(M2)	副支部長	高橋 克英	(M9)
	門脇 孝	(K4)		白鳥 高	(A12)
	飯藤 将之	(A16)		佐瀬 信	(K7)
理 事	引地 智	(E1)	理 事	三浦 博	(E18)
	海老 誠一	(M1)		藤野屋 政一	(A1)
	菊地 則仁	(K5)		高橋 進	(E2)
	渋谷 英樹	(S4)		奈良 孝一	(A18)
	笠松 富二夫	(A5)		井浦 正広	(E18)
監 査	高橋 博之	(E1)	事 務 局 (会計担当)	久保田 幹朗	(A21)
会 計	石川 信幸	(M19)		庄司 崇記	(K17)
事務局長	鈴木 勝彦	(K4)		鈴木 謙治	(E25)
監 査				村田 良光	(A17)
				宮田 怜子	(A32)
				星 智恵子	(A15)
				鎌田 秀一	(A6)
				佐藤 睦雄	(E16)



平成24年度 松韻会総会報告

平成24年6月16日(土)にホテルパレス仙台にて、平成24年度松韻会総会が行われました。開会宣言、会長挨拶、議長選出の後、事務局から左記の事項についての報告が行われました。

- 1 平成23年度事業報告
- 2 平成23年度決算報告

その後、左記の決議案が出され、満場一致で承認されました。

- 1 平成24年度事業計画(案)及び平成24年度予算書(案)
- 2 韻会ホームページ広告掲載要綱(案)及び広告掲載基準(案)
- 3 規約改正「副事務局長の設置」
- 4 役員改選

決議後、東北支部、関東支部、北海道支部から活動報告があり、議長解任、新役員挨拶の後、閉会宣言をもって総会は終了しました。平成24・25年度の松韻会役員および事務局は左記の方々です。

- ・会長
大江 章 (CR3)
・副会長
渡辺 秀博 (CR3)
遠藤 好朗 (CR4)
工藤 久志 (CR8)

- 門馬 敏仁 (CI7)
出員 隆志 (CR9)
支部長
東北支部長 出員 隆志 (CR9)
関東支部長 山内 克也 (CR5)
北海道支部長 根本 孝一 (PP17)
監事
庄子 直人 (CR7)
林 忠之 (CE8)
里 銘 光春 (CR11)
参与
及川 明 (RR16)
藁科 秀男 (PP17)
佐々木 勇 (RR22)
高橋 勤 (CR1)
事務局長
奥村 俊昭 (CI1)
副事務局長
末永 貴俊 (AE4)



松韻会会長挨拶

同窓会会員の皆様、明けましておめでとうございます。

明けて一昨年の大震災では会員の皆様も心身ともに、多大なご苦勞をされたことと拝察しております。新年にあたり心より、そのご活躍が実り、復興に向けた兆しが現実のものとなるよう祈念申し上げます。また本年は母校にとって、高度化再編4年目の年となり名実ともに更なる発展を遂げることを期待するものでもあります。

本日は両キャンパス総支部合同にて「仙台高専同窓会会報」の第一号の発行となり、編集に携わった役員・委員の方々のご苦勞に対しあらためて心より感謝申し上げます。

さて、私は昨年6月の松韻会総会にて会長の任を拝命しました高専3期電波通信学科卒業で、現在は東北放送に勤務し総務と技術を担当しています。初めての紙面での挨拶となりますがこれからどうぞ宜しくお願いします。

今年度の活動について近況をご報告します。「昔トソー今ネット」という世の中で、デモ版HPの作成に向けて鋭意努力中です。是非、

東北支部だより

東北支部長 出員 隆志
(電波通信学科9期)

会員の皆様、新年あけましておめでとうございます。昨年は年頭の挨拶が躊躇われる状況でしたが、今年は被災地の早期復興を祈念し力強くご挨拶したいと思います。

さて、東北支部では昨年9月開催の電気自動車エコラン及び10月開催の口ポコン東北地区大会の支援をさせて頂きました。口ポコン大会では広瀬Aチームがみごと準優勝を果たし、僅かながら貢献できた事を大変うれしく思っております。

広告の掲載などご意見を事務局にお問合わせ願います。

昨年10月20日、21日には高専祭ホームカミングデー協力の一環で同窓会ブース「懐かしの学び舎」を展示しました。そこには「電波」ならではの気質というDNAを感じ、長い歴史に支えられた「この財産」も垣間見られる展示となりました。同時に松韻会の名前の由来となった松韻寮の屋の試食会もあり、カミングデーに相応しい2日間となりました。

また東京で開催された高専口ポコン全国大会(11月25日開催)では参加する現役学生へ昼食(弁当)の差し入れと応援部隊を関東支部より派遣して頂きました。支部同窓生の皆さまには感謝申し上げます。

今後東北無線電信講習所からだと創基70年、国立仙台電波高校から63年、電波高専でも40年を超える本年は記念式典やシンポジウムなどのポストイベントが開催され、同窓会としてもこれら行事に協力していきたいので会員皆さまのより一層のご理解とご協力をお願いして挨拶にかえさせて頂きます。

す。また、今年度は初めてETTSフトウェアデザインロボットコンテスト(略してETロボコン)の支援もさせて頂きました。来年度以降も継続して支援をしていきたいと思ひます。

次期においては、せっかく母校と同じ東北の地にいますので、現役学生との交流の機会を持ちたいと考えております。既にクラブ活動等で現役学生と交流されている方、また、今後やってみてみたい方がおりましたら支部としてご協力したいと思ひます。是非、同窓会事務局までご連絡を頂きますようお願いいたします。

新年のご挨拶と2013年度 関東支部懇親会のご案内

関東支部長 山内 克也
(電波通信学科5期)

新年明けましておめでとうございます。新春を迎え皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。また、旧年中は、大変お世話になりました。お陰様で関東支部も継続的な活動をしながら、新年を迎えることができました。これもひとえに、仙台高専同窓会本部、松韻会本部並びに松韻会関東支部会員の皆様のご理解とご協力の賜物と、関東支部役員・幹事一同より感謝申し上げます。本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

さて、本年は、仙台高専同窓会総会と松韻会総会(含む関東支部総会)を6月8日に東京地区にて開催することが決定しております。3年に1度のイベントとなります。

最後に、昨年の関東支部の活動状況について簡単に報告申し上げます。紙面の都合上詳しくはご報告できませんがご了承の程よろしくお願ひ申し上げます。

- ①関東支部懇親会 (2012年6月22日)
- ②東日本大震災義援金活動 (2012年6月22日)
- ③高専口ポコン大会全国大会出場激励 (2012年11月25日)
- ④他校同窓会との交流 (秋朋会東京支部、七宝会関東支部、熊本電波同窓会関東支部)

北海道支部だより

北海道支部長 根本 孝一
(専攻科17期)

皆様におかれましては、清々しい新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

北海道支部における昨年の活動を振り返ってみますと、北海道在住の同窓生の動向把握に努めました。支部総会開催案内にあわせて近況等確認し、後日「会員だより」としてお知らせした次第です。

その後、会員の皆様のご協力を得て支部リストの精度向上を引き続き図っております。

六月に支部総会兼懇親会の開催。仙台高専同窓会への出席。七月には「会員宅訪問(増毛町の川谷先輩宅)」を実施。九月には、これまでの活動をまとめ、支部報



平成 23 年度 仙台高等専門学校同窓会決算書			
収入の部			
項 目	23年度予算額	23年度決算額	備 考
前年度繰越金	0	0	
入 会 金	2,920,000	2,759,200	新入生275名×10,000円(名取151名・広瀬124名) 手数料 (-30,000) 23年度新入生分 名 取 1(9,880) 広瀬 2(19,840) 前年度繰 越(9,880) 及び 印字サービス(-400)円を含む
雑 収 入		0	
合 計	2,920,000	2,759,200	
支出の部			
項 目	23年度予算額	23年度決算額	備 考
地域活動費(会費)	1,360,000	1,203,520	10名×1000円 幹事費分 10,000円 予備費分 10,000円 振替手数料(500)
地域活動費(広瀬)	960,000	946,200	10名×1000円 幹事費分 10,000円 予備費分 10,000円 振替手数料(500)
事 業 費	400,000	280,370	総会・3.11震災復興義援金(10万)その他
事 務 費	100,000	36,155	郵送料・役員会・振替用紙・振替手数料 他
予 備 費	100,000	292,955	次年度へ繰り越し
合 計	2,920,000	2,759,200	
収入 2,759,200 円			
支出 2,759,200 円			
上記の通り報告いたします			
平成 24 年 4 月 1 日 会 計 石川 信幸 同 義 務			
監査の結果正確であることを認めます			
平成 24 年 5 月 12 日 監 事 鈴木 孝幸 林 忠彦			

平成 24 年度 仙台高等専門学校同窓会予算書			
収 入		3,183,000 円	
支 出		3,183,000 円	
収入の部			
項 目	24年度予算額	23年度決算額	備 考
前年度繰越金	292,955	0	前年度繰越金
入 会 金	2,890,000	2,759,200	新入生289名×10,000円(名取144名・広瀬135名)
寄 付 金	0	0	
預金利子	45	0	仙台銀行
	0	0	
雑 収 入	0	0	
合 計	3,183,000	2,759,200	
支出の部			
項 目	24年度予算額	23年度決算額	備 考
地域活動費	830,000	1,203,520	名取総支部
地域活動費(広瀬)	940,000	946,200	広瀬総支部
事 業 費	1,670,000	280,370	総会・会報作成・卒業記念品他
事 務 費	93,000	36,155	郵送料・役員会・振替用紙・振替手数料 他
予 備 費	50,000	0	
合 計	3,183,000	2,466,245	

ホームカミングデー開催

松韻会室お披露目

松韻会副会長(情報工学科7期) 門馬 敏仁



先の松韻会総会にて副会長を仰せつかりました高専14期情報工学科7期卒の門馬です。今回は、10月20日、21日に開催されたホームカミングデーの様相をご紹介します。ホームカミングデーは、同窓生と学校との交流をより深めることを目的としており、今年も仙台高専祭にあわせて開催されました。卒業してから再び学校に帰ってくる場所づくりとして、同窓会では、歴史を紹介したパネルや昭和25年発行の仙台高校同窓会会報、昭和55年発行の仙台電波高専同窓会会報を始めとした今まで発行された会報の一部、また、応援団旗など昔を偲ばせるものを展示いたしました。晴れ渡った秋空のもと、学生広場には賑やかな出店がならび、各教室では最新の技術などを紹介する展示がなされていました。ホームカミングデーだけは、学校の長い歴史を垣間見ることができる場所のようでした。



10月20日には、来校した同窓会役員に厚生会館2階に新たに設けられた松韻会室のお披露目があり、早速この部屋において、同窓会ホームページ充実委員会が開催されました。また、当日に集まった同窓生一同

は、お昼にかけて松韻寮見学ツアーに参加させて頂きました。あいにく、私は通学生でしたので寮生活の思い出はありませんが、一緒に見学した方々は、しきりに「懐かしい」「俺の部屋はあっちだ」などと当時に思いを馳せていたようでした。私も1階の談話室に飾られていた約40年分の卒業式の記念写真から同級生の懐かしい顔を見つけた時には、学生時代を思い出さずにはいられませんでした。また、見学の最後には寮食試食会もあり、皆でポリウム満点、とても美味しかったです。昼食を頂きました。

私にとっては、久しぶりの学校訪問でしたが、お世話になった先生のほとんどが退官され、また、学校も統合・学校名の変更などと次第に新しい姿に変わっていることを実感しました。しかし、私たちがお世話になった仙台電波高専は確かにそこにありました。最近では同級生と顔を合わせる機会も減りましたが、昔の仲間が集まり、思い出話をするのは楽しいものです。是非来年には一人でも多くの同窓生が再会するきっかけの一つとして、ホームカミングデーを利用して頂きたいと思います。



ホームカミングデーの同窓生からのメッセージについて

仙台高専事務局 鈴木 勝彦

同窓生の皆さんのホームである母校に来ていただき懐かしんでもらい、また、同窓生のその後の活躍を在校生へのメッセージという形などで還元してもらう企画として「ホームカミングデー」が高専祭の時に開催する形で昨年度から開催されました。主催は学校側で、同窓会は支援するという形式となっており、発行された「愛島通信」、入学式、卒業式から始まり運動会、東北地区大会、全国大会、校内スポーツ大会などの過去のイベントの様子を撮った写真の展示がなされ、同窓会側からは、各学科の卒業アルバム、本部の同窓会総会、東京支部総会の様子の写真などが展示されました。更に、昨年度は東日本大震災の被害の様子の写真と共に、東京支部の被災した学校、在校生に送ってもらった「応援メッセージ」の展示や同窓会から送られた「応援のための横断幕」の展示を行いました。今年度はこれらの展示に加え、活躍しておられる7名の同窓生に「在校時の思い出、卒業後の活躍、後輩への応援メッセージ」を提供頂き、そのポスターの展示をしました。また、本部と東京支部に関する展示ポスターも併せて行いました。在校生はもとより、保護者の関心も高く、同窓生の訪問者に多数展示に訪れて頂き、大変な好評を頂きました。下記は、その時の展示の様子の写真と情報提供頂いた方の氏名を記載させていただきます。ありがとうございます。

- ① 新山敏彦(Ｅ9回生) 会長
- ② 小野 省(Ｍ3回生) 東京支部長
- ③ 平 重信氏(Ｅ1回生)
- ④ 湯澤哲雄氏(Ｍ3回生)
- ⑤ 中川要司氏(Ｋ3回生)
- ⑥ 庄子尚志氏(Ｋ9回生)
- ⑦ 清野嘉幸氏(Ｋ17回生)
- ⑧ 宮城高専同窓会と仙台電波高専同窓会との統合による仙台高専の沿革萩朋会東京支部総会の活動概要

編集後記

同窓会員の皆様、あけましておめでとございます。新春に仙台高専同窓会初の名取キャンパス総支部(萩朋会)と広瀬キャンパス総支部(松韻会)の合同での会報をお届けさせていただきましたが、いかがだったでしょうか？

なにぶん合同での会報発行というのは初めての作業でしたので、難しい点多々ありましたが、なんとか形になったのではないかと思います。同窓会員の皆様からのご感想をお待ちしております。

仙台高専同窓会会報の次号の発行予定は今のところまだ未定となっておりますが、私個人としては、何らかの形で続けていければいいな、と思っております。

今後とも仙台高専同窓会をよろしく願っています。

(菅原)

